

平成22年12月27日

浜田市議会議長 牛尾 博美 様

報告者 平石 誠

視察報告書

下記のとおり、視察を行いましたので、その結果を報告いたします。

記

1. 期間 平成22年11月9日(火)～11月11日(木)
2. 視察先 和歌山県田辺市 秋津野ガルテン
3. 参加者 美浦美樹、中村建二、原田義則、山田義喜、平石 誠
4. 調査項目
 - ・廃校を活用した地域・農業振興の取り組みについて
5. 視察先の調査内容

浜田市では、市内各所に学校の統廃合による空き校舎をかかえており、これらを有効活用していく術を模索中であるが、和歌山県田辺市の秋津野地区において、小学校の移転新築に伴い廃校となった校舎を活用した先進的な事業が進められているということで視察に訪れた。

現地へ到着してまず驚いたのは、場所が街中からちょっと外れた住宅街であったことである。事前入手していた資料から木造校舎や風景をイメージしていたが、全く別のものであった。よくよく聞いてみると、この地区は数年前から住宅の新築が増えてきており、それに伴い人口が増加してきたため、手狭となった木造校舎を廃止し、向かいの山手へ新築したとのことであった。浜田市における廃校事情とは大きくかけ離れた状況のなかでの廃校になったということであったが、いずれにしても、廃校を利用して地域活性化、農業の活性化を図っている事業であり、浜田市においても参考にすべき点は多々あると感じたところである。

現地到着当日は、同施設内の農業体験者の宿泊を目的とした施設に宿泊し、夕食も同施設内のレストランでいただいた。このレストランもまた、地域振興の目玉のひとつであり、地元の食材を中心に、地元の女性たちがパート等で切り盛りをしているとのことであった。翌日驚かされたのが、平日にも関わらずお昼時のお客さんの多さであった。ここのメニューはバイキング方式であり、レストランの広さは10数名程度しか座れないが、廃校舎の空き教室や、中庭、宿泊施設の部屋にまでお客さんがあふれており、女性スタッフが右往左往の状態であった。やり方次第でこれほどの入込客を確保できるという点は非常に勉強させられたところであった。

2日目に、田辺市の担当の方から事業の経緯から実施状況までの説明をいただいた後、同施設の運営を任されている、運営会社の玉井副社長から運営状況の説明を受けた。玉井氏は大手企業を中途退社され地元の自治会役員として地域振興の中心人物として、この施設の準備段階から行政や関係機関との調整役として活躍されたそうである。玉井氏の話のなかで、こういった新しい事を始めるには、人材を広く求めることが大事である(この事業の準備メンバーの中には和歌山大学?の教授や学生も参加していたそうである)ことを強く言われていた。浜

田市にも県立大学があり、現在も様々な接点をもっているが、更なる関係の構築が必要であると感じた。

今回の秋津野ガルテンへの訪問は、廃校舎活用を目的に訪れたところではあるが、それ以上に、地域や農業の活性化はマンパワーであるということを認識させられた視察であったように思うところであることを申しあげて、視察報告とする。